

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 6 月 11 日現在

機関番号：34316

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2012～2015

課題番号：24520249

研究課題名(和文)久世家文書の目録作成と総合的研究

研究課題名(英文)The list making of the Kuzes document and general study

研究代表者

日下 幸男 (KUSAKA, YUKIO)

龍谷大学・文学部・教授

研究者番号：20351330

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,900,000円

研究成果の概要(和文)：近世の公家文化の研究には、公家文書の網羅的研究が必要である。研究代表者は国文学研究資料館の久世文書の悉皆調査に続いて、明治大学博物館の久世家文書を調査して、久世家文書の総合目録の作成をめざした。しかし文書の総体が膨大なために、作業は完了しなかった。中院通茂が久世通夏に授与した歌学の基本が、中院家の歌学によるものであることを、様々の資料から証明することができた。貴族階級の歌学は相互に影響し合っているため、公家の歌学の総合的な研究の必要性を再確認した。研究の一端は『中院通勝の研究』(2013)や「中院家の正月」(国文学論叢2016)などにより公表した。

研究成果の概要(英文)：The study representative investigated the Kuzes document of the Meiji University Museum and aimed at the making of the union catalog of the Kuzes document. However, the work was not completed because the entirety of the document was enormousness. It was confirmed about the study of cultural affairs of the head of a household of the Kuzes that influence of the study of tanka poetry of the Nakanoin was big. I was able to prove that basics of the study of tanka poetry that Michimochi Nakanoin conferred on Michinatsu kuzes depended on hereditary learning of the Nakanoin from various documents. Because the study of tanka poetry of the nobility influenced it mutually, I reconfirmed the need of the general study of the study of tanka poetry of the court noble.

研究分野：中世近世和歌史

キーワード：公家文書 久世家 中院家 堂上歌学 古今伝受 中院通茂 久世通夏

### 1. 研究開始当初の背景

禁裏を中心とした公家の蔵書と家学に対する関心は近年とみに高まってきている。たとえば田島公氏基盤研究(A)「東山文庫本を中心とした禁裏本および禁裏文庫の総合的研究」(1998~2000) 同「禁裏・宮家・公家文庫収蔵古典籍のデジタル化による目録学的研究」(2002~2005) 人間文化研究機構連携研究「中世近世の禁裏の蔵書と古典学の研究 高松宮伝来禁裏本を中心として」(2006~2008)などの共同研究が実施されている。京都大学中院文庫の貴重書の内、主要なものについては、すでに京都大学電子図書館で公開されている。国文学研究資料館の電子図書館を入口に宮内庁書陵部本についても一部は画像公開が進められている。

研究代表者も宮門跡であった聖護院門跡(京都市)の御文庫調査や京都大学蔵中院文庫・中院文書などの調査を半世紀近く継続しており、その成果の一部は「聖護院蔵宸翰・御筆・手鑑について」(中世文芸論稿 11号 1988)や『近世初期聖護院門跡の文書 付旧蔵書目録』(1992 私家版)、『文庫及び書肆の研究』(2008 私家版)などにおいて公表している。『文庫及び書肆の研究』においては聖護院文庫の目録(宝物庫を含む)を掲載している。聖護院蔵書については近く国文学研究資料館が撮影を開始する予定であり、いずれ画像の公開も期待される。

その流れの中で中院家と姻戚の久世家に注目し、久世家文書の和歌関係コレクションを入手したことを機会に、久世家文書の現状について調べたところ、60年以上前に流出分散し、旧国立史料館(現国文学研究資料館)と旧明治大学刑事博物館(現明治大学博物館)が多くを所蔵することを知った。その他、書陵部・東京大学史料編纂所・京都大学・東北大学・中央大学等にも分割所有され、和歌関係の書物が研究代表者の蔵するところとなっている。この現状では久世家の家学を研

究することが非常に不便なので、久世家文書総合目録を編纂し、広く総合的研究を呼びかける基盤整備の必要を感じた次第である。

### 2. 研究の目的

久世家文書総体の輪郭を明らかにし、その形成過程と伝存形態を明らかにするための総合目録の作成である。幸いに国文学研究資料館公募型共同研究「久世家文書の総合的研究」(研究代表日下幸男 2009~2011)により、国文学研究資料館に所蔵される久世家文書約 2300 点については既に調査カードを採取済みである。そして国文学研究資料館編『研究調査報告 久世家文書の総合的研究』(2012)も公表済みである。

続く本基盤研究においては、旧明治大学刑事博物館(現明治大学博物館)所蔵の約 2000 点以上の調査カード採取と悉皆調査による本格的目録の作成、そして残余の久世家文書の悉皆調査を経て、総合目録を作成することにある。その上で、『久世家文書総合目録』・『久世家文書貴重書解題』・『久世家文書の総合的研究』などを出版することである。

### 3. 研究の方法

当初は国文学研究資料館蔵久世家文書の調査の時と同様に、ほぼ同じグループで国文学研究資料館の細目カードを基本として明治大学博物館蔵久世家文書の悉皆調査を行い、調査カードを採取することにした。

しかし旧明治大学刑事博物館により発行された目録は、悉皆目録ではなく、員数欄に「一括」と表記されている文書が多数あり、約 2000 点とされていても実数は不明であることがわかった。また国文学研究資料館の調査時と同様に、一度に多人数による調査を予定していたのであるが、実際には調査が実施しにくい条件があること(たとえば人数制限、閲覧時間制限、曜日制限など)が判明した。そのために調査回数を予定より大幅に増やしたのであるが、全数調査が期限までには終

了しなかった。そのため今後も調査を継続する予定である。なお個人蔵の久世家文書のリストは国文学研究資料館編『研究調査報告 久世家文書の総合的研究』(2012)に収載済みである。

なお若手研究者の養成という意味もあり、京都大学大学院の院生2名と龍谷大学大学院の院生2名等の参加を得て、古文書調査の経験を積んでもらうことにした。なお基盤研究の調査に参加している院生も含めて、私的な研究会で公家の歌学・古今伝受関連の日記(中院通茂日記)の輪読を実施しており、若手研究者の公家文化への理解拡大を図っている。

#### 4. 研究成果

近世の公家文化の研究はたしかに隆盛に向かいつつあり、それを補強する意味で、久世家と中院家の学問的つながりや古今伝受の授受(中院通茂が3人の息中院通躬・野宮定基・久世通夏に伝授)を、歴代当主日記などを引用しつつ、「中院家の正月」(『国文学論叢』61)にまとめて公表した。また現在までの研究代表者の公家文化研究の歴史を「久世家文書の和歌資料」(龍谷大学国文学会2015)において口頭発表した。もちろん国文学研究資料館編『研究調査報告 久世家文書の総合的研究』(2012)等を踏まえたものである。

今回の基盤研究の調査を通じて、久世家文書に含まれる久世家歴代の懐紙・詠草や日記などは、国文学研究資料館・明治大学博物館・研究代表者の蔵書を総合しないと、総体が判明しないことが確認された。また公家の学問は家を跨いで影響し合っているので、京都大学蔵の中院文庫・中院文書などによる中院家の家学も密接に関連しており、武家の鍋島家も含めてそれらとの比較や総合的研究がいよいよ必須条件として浮上してきた。

なお研究代表者は、近年流出した久世家文書を古書目録により購入したり、調査を進め

たりして、将来の『久世家文書総合目録』・『久世家文書貴重書解題』などの刊行に備えている。また研究成果の一部を生かして、『中院通勝の研究』(2013 勉誠出版)を刊行し、2016年度中に『後水尾院の研究』(勉誠出版)を発刊予定である。後者は1750頁を越える大部な研究書であり、公家文学・文化の究明に資するものと思われる。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 11件)

- (1) 日下幸男、中院家の正月、国文学論叢、査読無、61、2016、256-268
- (2) 日下幸男、後水尾院御集について、龍谷大学論集、査読無、487、2016、19-84
- (3) 日下幸男、羽前米沢藩上杉定勝の文事、国文学論叢、査読無、60、2015、62-85
- (4) 日下幸男、高津唯恒の文事、龍谷大学論集、査読無、485、2015、83-117
- (5) 日下幸男、書評と紹介 神作研一著『近世和歌史の研究』、日本歴史、査読無、791、2014、114-116
- (6) 日下幸男、有賀長伯判歌合<翻刻>下、国文学論叢、査読無、2014、59、57-70
- (7) 日下幸男、有賀長伯判歌合<翻刻>上、国文学論叢、査読無、2013、58、80-89
- (8) 日下幸男、資慶卿口授<翻刻>、柴のいほり、査読無、2013、40、11-17
- (9) 日下幸男、風観斎追悼和歌(上)、国文学論叢、査読無、2012、57、70-97
- (10) 日下幸男、近江八景と『比牟礼山十景』、柴のいほり、査読無、2012、39、7-12
- (11) 日下幸男、風観斎追悼和歌(下)、龍谷大学論集、査読無、2012、480、119-174

[学会発表](計 1件)

- (1) 日下幸男、久世家文書の和歌資料、龍谷大学国文学会、2015年6月27日、龍谷大学(京都府京都市)

〔図書〕(計 7件)

(1) 日下幸男、近世絵本影印集、龍谷大学  
日下研究室、2016年、302

(2) 日下幸男、菅原智洞集、龍谷大学日下  
研究室、2015年、603

(3) 日下幸男、中院通勝の研究、勉誠出版、  
2013年、520

(4) 日下幸男、季吟筆土左日記之抄 影印、  
龍谷大学日下研究室、2012年、215

(5) 日下幸男、笠間書院、古典籍研究ガイ  
ダンス、奥書・識語、2012年、280-289

(6) 海野圭介、笠間書院、古典籍研究ガイ  
ダンス、複製本・影印本の活用、2012年、  
370-383

(7) 日下幸男、類題和歌集 - 付録本文読み  
全句索引エクセルCD、和泉書院、2010年、  
792

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

日下 幸男 (KUSAKA YUKIO)

龍谷大学・文学部・教授

研究者番号：20351330

### (2) 研究分担者

海野 圭介 (UNNO KEISUKE)

国文学研究資料館・研究部・准教授

研究者番号：80346155

(3) 連携研究者 (0名)